

# 埼玉県立名栗げんきプラザ指定管理者候補者の選定結果について

埼玉県教育局市町村支援部生涯学習推進課

令和3年7月から募集を開始した埼玉県立名栗げんきプラザの指定管理者については、埼玉県議会12月定例会の議決を経て指定しました。

つきましては、指定管理者候補者の選定に当たっての経緯等について公表いたします。

## 1 名栗げんきプラザ指定管理者について

指定管理者：名栗フィールドズパートナーズ

代表者：株式会社東急コミュニティー

東京都世田谷区用賀4丁目10番1号

代表取締役 雑賀 克英

構成員：特定非営利活動法人国際自然大学校（東京都狛江市）

## 2 指定の期間について

令和4年4月1日から令和9年3月31日まで（5年間）

## 3 応募の状況について

### (1) 現地説明会への参加団体数

- ・令和3年7月28日実施 7団体

### (2) 応募申請団体数

- ・令和3年9月8日締め切り 1団体

- ・申請団体の内訳

ビル・マンション管理会社とNPO法人のグループ 1団体

## 4 指定管理者候補者の選定について

### (1) 選定基準

#### ア 審査基準

- ・ 県民の平等な利用を確保することができる
- ・ 関係法令を遵守し、適正な運営ができる
- ・ 設置目的を効果的に達成し、効率的な運営ができる
- ・ 指定管理業務を安定して行う経営基盤を有している
- ・ 個人情報の適正な取扱いが確保できる

#### イ 審査項目

- ・ 公の施設としての役割を適切に担うことができるか
- ・ 利用者本位の柔軟なサービスが提供できるか

- ・ 県民の平等利用確保への配慮がされているか
- ・ 効果的かつ効率的な管理を実施できるか
- ・ 法人等の経営基盤が安定しているか
- ・ 効果的な自主事業を実施できるか
- ・ 自主事業について、特筆すべき優れた点があるか
- ・ 指定管理業務に係る県の委託料は適切な額か
- ・ 委託料について、特筆すべき優れた点があるか
- ・ その他、特筆すべき優れた点があるか

## (2) 選定委員会の委員

氏名	職業等
今井 久典	加須げんきプラザ 所長
大鹿 良夫	(一社) 埼玉県子ども会連合会 会長
塚内 素子	飯能市立加治東小学校 校長
青山 鉄兵	文教大学 准教授
柵木 美穂	公認会計士
古垣 玲	教育局市町村支援部副部長

## (3) 第1次審査について

審査基準に基づき、資格・書類審査を実施しました。

- 審査結果

応募団体を第2次審査対象団体としました。

## (4) 第2次審査について

プレゼンテーション及び選定委員のヒアリング等による審査を実施しました。

- 審査結果

審査項目 (配点)		名栗フィールドパートナーズ
公の施設の適切な運営	150点	116点
柔軟なサービスの提供	120点	94点
平等利用の確保	60点	48点
効果的・効率的な管理・運営	180点	125点
安定した経営基盤	90点	73点
効果的な自主事業	210点	166点
自主事業についての加点	30点	21点
適切な委託料の算出	150点	107点
委託料についての加点	30点	11点
その他、特筆すべき優れた点への加点	30点	16点
合計点	1,050点	777点

- 名栗フィールズパートナーズの選定理由
  - ア げんきプラザの設置目的や県の施策を十分に理解しており、アクティブシニアの活躍や多文化共生などの現代的課題を踏まえた事業計画を提案している。
  - イ プラネタリウムを活用したイベント、周辺の自然環境を生かした体験活動など、施設の特色や地域の特色を踏まえた自主事業を計画している。
  - ウ 本館施設はもとより、森林散策路をはじめとした広大な敷地の維持管理や照明のLED化といった環境への配慮など、公の施設の管理者として適切な施設運営が期待できる。
  - エ 安定した経営基盤を有している。

○ (参考) 選定委員の主な意見

団体名	意見
名栗フィールズパートナーズに対する主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主事業について、教育施設としての役割が明確にされたバランスの良い提案がなされており、社会教育施設に相応しい安定した運営が期待できる。</li> <li>・あらゆる場面で地域や家庭、学校等との連携に係る提案がなされていることから、事業の幅が広がり、利用者にとって満足度の高い運営が期待できる。</li> </ul>

## 5 名栗フィールズパートナーズの提案の概要

### (1) 基本方針

- ① 新型コロナウイルスやSDGs等、新しい時代への対応
- ② 幅広い年代の方を対象とした事業の展開等による存在価値の向上
- ③ 充実した自主事業の展開による質の高い運営・管理

### (2) 自主事業計画

- ・ 「アクティブシニアの活躍や高齢者の支援」「国際交流・多文化共生」など、6つの地域課題の解決に向けた約30種類の事業を提案

例 アクティブシニアの活躍や高齢者の支援

名栗シニア自然塾（自然体験を通じた新たな生きがいがづくりや学びの場の提供）  
 孫と遊ぼうキャンプ（キャンプを通じた祖父母と孫の世代間交流）

例 国際交流・多文化共生

イングリッシュキャンプ（国際文化に触れる機会の提供）  
 多文化共生フォーラム（外国にルーツのある方へ適切な教育支援を提供するための各種支援団体との結び付け）

### (3) 利用者ニーズの把握及び実現策、接遇向上策

- ・ アンケートや対面での会話を通じた利用者ニーズの細部にわたる把握

- ・ 会議体における情報共有の徹底
- ・ 接遇やマナーに関する研修の実施とホスピタリティあふれる施設作り

#### **(4) 施設設備の維持管理**

- ・ 計画的な維持管理による安心・安全・快適な利用環境の維持
- ・ 「予防保全」に基づいた、施設の劣化状況の的確な把握と適切な修繕の実施
- ・ 森林散策路等の敷地内の山林に係る安全点検の実施と整備

#### **(5) 管理執行体制**

- ・ 現行の管理執行体制を継続し、安定的な体制を構築
- ・ 配置職員数：常勤職員9名、非常勤職員4名
- ・ 専門職員配置：社会教育主事、NEALインストラクター、CONEリスクマネジャー等有資格者の配置
- ・ 研修計画：全職員に対する職員研修や業務別研修の実施と事業担当職員に対する外部団体主催研修への積極的な参加
- ・ 業務委託：食堂、建物設備管理及び清掃業務等は委託を予定

#### **(6) 収支予算案（令和4年度及び5年間の収支計画）**

- ・ 令和4年度指定管理委託料について、令和3年度比約7.2%増加

#### **(7) 利用料金に関する考え方**

- ・ 食事代、シーツ代等は現行料金と同様

#### **(8) 個人情報の取扱い**

- ・ 関連法令の遵守と情報保護のための管理体制の構築
- ・ 個人情報に関する研修の定期的な実施による職員への個人情報保護の重要性の認識付け

#### **(9) 危機管理体制**

- ・ 事故防止、緊急時対応の2つの観点からの危機管理の徹底
- ・ 関係資格の取得や職員研修をはじめとした、事故や災害に対する様々な対策の構築
- ・ 様々な状況に合わせたマニュアルの整備と定期的な見直し